

公表:令和 6年 5月 1日

事業所名 きらりこ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	1	4		活動によっては屋外 や公園などで実施す るなどの工夫をしてい ます。	引き続き、室内を有効に使 う方法を考えていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	2		お子様の人数やサ ポート状況によって配 置しています。	今後も適切に配置するよう に努力します。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	5				
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		5		不定期ですが、職員 全員で現状や課題共 有の時間を設けてい ます。	日々のミーティングや定期 的な職員会議での検討・実 施に努めます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	3	2			s
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	3	2			令和6年5月に開設予定の HPで公表予定です。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	1	1	3		今後検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	3	2		長沼町が実施した 講演会に参加や、北 海道がオンラインで 実施した研修を視聴 するなどを行っています。	引き続き、研修の機会を確 保に努めます。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	4	1			半年に1回にモニタリング を行い、目標の達成や課題 を保護者様と共有してい ます。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1	インフォーマルなア セスメント(通所時の 様子やご家庭での様 子)での評価をおこ なっています。	アセスメントツール導入に ついて検討します。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		スタッフ間で予定を考 えて、実施してい ます。	引き続き、幅広いスタッ フで協力し、活動プログラ ムや予定を作り、実施してい きます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか		5			今後は、様々な経験に向け て策定の検討していきま す。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	1	4			長期休暇の利用の際に は、季節や障がいの特性 に配慮した設定をして、支 援を進めます。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか	4	1		日々の活動時の個 別的な支援と集団場 面での配慮を組み込 んで作成しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	2	3		当日の担当者や、臨 機応変に対応する場 合の確認を行っています。	今後も、日々の支援、活動 内容を確認し、支援を進め ます。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5			送迎での時間差もあり、日々の振り返りは十分出来ないため、定期的に共有する時間の確保や、日々の記録等でスタッフ共有出来るように進めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1			記録の役割分担を再検討し、滞ることがないように取り組み、検証・改善に取り組みます。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	4		必要時には判断し、モニタリングを実施しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		5			今後も、ガイドラインや個々の課題に合わせて活動を組み立て支援を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		児発管が参画してきました。	引き続き、児発管を主にして必要なスタッフが参画していきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	4		必要時には情報共有を図ってきました。	今後も継続します。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1			対象児がいませんでした。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4			機会がありませんでした。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5			対象児がいませんでした。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3			長沼町で実施された研修会に参加し、研修を受けました。今後も必要時に連携を持ちます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5		今後検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	3		自立支援協議会等からの参加要請はありませんが、福祉課や子育て支援課との情報共有には取り組んでいます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		連絡帳や送迎時に共通理解を図っています。必要時面談も行っています。	引き続き、コミュニケーションを取り、共通理解に努めます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3		ペアトレとしては研修を受けていないこともあり、実施していません。個々のケースで保護者様の要望があれば、対応について一緒に考えていきます。
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4		保護者様の交流の機会を作るように努めます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1			日々、保護者様からの相談に対応することが出来るように体制整備に努めます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1	3		今後検討します。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5				
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2	1		顔を合わせてお伝えすることに加えて、連絡帳やラインでのやり取りなど意思疎通や情報伝達に努めます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4		今後検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		1	4		十分なマニュアル策定や訓練は出来ませんでしたので、今後検討実施していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		1	4		十分な訓練は出来ませんでしたので、引き続き、努力いたします。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	3		職員研修時に取り組み、確認しました。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3			保護者様には支援計画を通して同意をいただいています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5			食物アレルギーのあるお子さんがいませんでした。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4	1		口頭での共有に留まり、事例集作成には至りませんでした。今後検討します。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。